

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

| | |
|---------------|---|
| モデル事業名 | 「鉱石の道」産業遺産エコ・パーク地域マネジメントプロジェクト |
| 対象地域 | 朝来市生野町口銀谷 |
| 活動概要 | <p>生野町は、企業の再構築等による人口流出等を背景に、町の気力は衰退していった。町内に4校あった小学校は2校に減少。また、観光業においても来場者の減少が著しく、史跡生野銀山の年間来場者数は、ピーク時の24万人に対し、現在は7万人に減少した。地域の衰退に歯止めをかけるべく、活性化に向けて注目した地域資源が、生野鉱山の近代化産業遺産である。</p> <p>生野鉱山は、明治時代の初期に仏人鉱山技師たちを招き、日本の近代鉱業の模範を目指して大規模に再開された。昔の面影を残す産業遺産は現在も町内に点在し、平成13年度より神戸大学による土木建造物等の調査を開始した。これに伴い、産業遺産を通して、鉱山町の地域文化や建造物等に対する住民意識が高まり、住民主体による町並み景観の保存活動も行われている。また、観光事業化を目指して産業遺産ツーリズムのテストトライを実施しており、その結果、ガイドやツアーの企画実施等を行うコンソーシアムが形成（町内11団体、町外2団体で構成）された。さらに、開坑1200年を迎えた昨年は、地域が主体となって記念事業等を実施。夏には盆踊りを開催し、江戸時代（天領の時代）から受け継ぐ生野踊り（市指定文化財）の復活を行った。</p> <p>本事業では、NPOを中核に置き（設立までは準備委員会が担当）、生野銀山の産業遺産を活用した欧州型のエコミュージアム（「領域＝地域」ととらえたオープンエアミュージアム）の形成を図り、生野鉱山の産業遺構、鉱山によって形成された町並み、古民家、まちの記憶、住民等の連携を通して、地域の誇りや鉱山町の生活文化等を守り伝え、開坑以来1200年続いた鉱山町特有の地域アイデンティティの継承を担うものとする。そのなかで、生野町の地域力（人・組織・ネットワーク等）を集結・強化し、「参画型まちづくり方式」による地域マネジメント運営体制を構築し、住民・行政・企業等の連携・協働による持続可能な観光まちづくり事業の推進を目指す。</p> |
| 今年度の主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> ①本事業では、生野鉱山の産業遺産を活用したスローツーリズムの推進に向けて、地域住民や関連機関（朝来市、生野町観光協会、生野町商工会）等で構成するワーキングを形成し、ワークショップや専門家アドバイス等を通して、旅行エージェントを対象としたツアー商品の企画等に取り組むとともに、NPOを中核とした地域連携体制と事業実施を担う人づくり（地域コーディネーター、地域ディレクター、地域マネージャー等）を行い、「鉱石の道」産業遺産エコ・パークにおける地域マネジメント体制を構築する。 ②生野鉱山タイムマシン地域体験プログラムの開発として、当時の写真や映像等を用いたトークライブ（坑道見学や町並み散策ガイドのサイドストーリーづくり）の企画に取り組み、地域の若者を軸にプログラムの試作化を行う。 ③生野鉱山の背景とした懐かしい味（鉱山社宅で食べたハヤシライス、鉱山社宅のおやつ等）の復刻に取り組み、試作化、販路づくり（地域での提供）、ブランドづくり（ラベル等）を行う。 ④空き店舗等を活用し、鉱山町の生活シーンを展示したハヤシライス食堂等としての運用システムを構築し、運営に向けた社会実験に取り組む。 ⑤上記事業等の情報発信（Webサイト、ブログ等）の管理システムの構築に取り組む。 ⑥上記事業の成果をとりまとめ、報告書（電子データを含む）を作成する。 |
| 活動結果 | <p>生野鉱山ゆかりの地域体験プログラムの開発や「食」の復刻を通じ、NPOが中心となって地域事業者や地域住民等と連携して観光まちづくり事業の推進に取り組む、参画型のまちづくりにより新たなツーリズム商品のコンテンツ開発を実施することができた点は大きな成果である。</p> <p>また、地域住民が空き店舗活用社会実験に店舗スタッフとして参加し、来訪者への案内や地域製品の生産者等と交流する機会が生まれた。来訪者に鉱山町の歴史や当時の風景等を伝えることで、まちに対する誇りと愛着心を生み、まちづくりの担い手として、ともに地域運営に参加するという意識が生まれてきている。</p> |
| 当初予想していなかった効果 | <p>取組によって「あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン（行政・観光事業者・JRが一体となって全国から集客を図る）」への受入体制づくりやJR西日本ジパング倶楽部への地域体験プログラムができ、地域体験型ツアーのプログラム企画、実施に向けたマネジメント、旅行エージェント等との対応などが実現した。</p> |
| 実施状況(写真) |  <p>【写真】地域体験プログラム（トークライブ）の実践</p> |
| 応募団体名 | NPOいくのライブミュージアム |
| リンク | |
| 部局／担当者名 | 理事長 木原真一 |
| 連絡先 | TEL 079-679-2233 |
| 推薦市町村名 | 兵庫県朝来市 |